

自治協議会代表者による意見交換会(平成30年5月開催)、地域コミュニティ活動推進員による意見交換会(平成30年6月開催)での意見集約

組織運営

自治協議会代表者

丹波市の将来の姿を同じ目線で地域と行政が共有する必要があると思う。
山南地域でも4地域共通のポスターをつくり、同じ目線で取り組むことを考え、山南地域一体となった取り組むことを始めている。

自治協議会代表者

自治会長を経て自治振興会の会長として数年になるが自治振興会の方向付け、役割これは何かということに悩んだ。市にも聞いたが、自治振興会と自治会長会のあり方等についてははっきり示されていないことを感じた。そういう意味で今回の懇話会が立ち上がることに期待する。

地域コミュニティ推進員

自治会長会と振興会があり、どっちが上なのかについて、振興会が上の様に思われるが、実際はそんなことは無い。自治会長は自治会員がいて基盤があり歴史も古く力がある。そこに振興会ができたという事。そこで問題がでてきており、例えば山南町でいえば、中学校の統廃合がある。振興会のトップが集まって議論すればよいと言われるが、それは山南町では全く難しい。

地域コミュニティ推進員

平成22年にNPO法人神楽の郷と自治会長会、財産管理をしていた神楽会の3つが1つになって(一財)神楽自治振興会となっている。合併前は、NPO法人と自治会長会が別で、地域がついてこない様な思いをしていた。今は、3つの団体が1つになり、自治会長が理事として参加しているおかげで地域づくりはしやすくなった。

地域コミュニティ推進員

自治振興会/協議会と自治会長会の2つの組織があります。丹波市は、協議会と自治会長会を混同している。協議会と自治会長会を混同しているから懇話会などの会が必要になっているのではないかと現に代表者会で自治会長会に向けて行政の話をするのは通るかと思うが、そこに振興会がいる状況はおかしいと思う。懇話会を実施するにあたり、それに気を付けてもらわないと違う話になってしまうと思う。

自治協議会代表者

市の方で自治振興会、自治会長会の方向性を一本だしてもらい、自治振興会も市が期待するのか、自治振興会も市に対して何を望むのかを懇話会で整理してもらえれば我々も動きやすくなると思う。

地域コミュニティ推進員

組織について、役員あるいは委員が多すぎると思う。役員・委員を整理した組織づくりをして頂けると非常に助かる。懇話会の中でこのような事も議論して頂ければと思う。

組織運営・活動内容

自治協議会代表者

伝統文化を継承することは大事だが、高齢化が進む中で人手が必要だし、お金がかかる。その中で単位自治会は個々に活動を行い、協議会の活動にも参加しなければならない、大きな負担となっている。継続しなければならないことは何か、取り組まなければ何かを自治協議会の中でも見直しをしていきたい。

活動内容

自治協議会代表者

今後は、住民の安心安全について自治振興会が取り組まなければならないことだと思う。今回の懇話会が自治振興会(協議会)の形はどういう方向にもっていくのかを十分話し合ってもらう機会になればありがたいと思う。

自治協議会代表者

活動内容について、都市住民と交流の促進を図って少しでも定住を考えてくれる事業と地域の方が、子供たちが故郷をいつまでも覚えてくれるようなイベントの2つだけに絞っている。目的を持ってやっているつもり。イベントをやった良かったはあるが、くたびれだけが残ったではいけないので、そうことを考えてやっている。

活動内容

自治協議会代表者

事業計画、事業報告の内容を提出された25校区の活動内容を市で掌握し、それぞれ1ページ、25ページになるかと思うが、この地域はこういうことをやっていると整理し自治協議会に返されることで、課題や参考になる取り組みも見える。

地域コミュニティ推進員

活力ある地域づくりとして市の補助金を受けて具現化しているが、どうしたら地域の活性化が図れるのかという事は、わからない。とても深刻である。本来は丹波市の施策があって、それにもとづいて活動するものだと思うが、市の考えそのものを伺う機会が無い。市の考えがわからないのに、じゃあそれをどう具現化したらいいの？というところで非常に困っている。

地域コミュニティ推進員

他の推進員がどのような事で困っているのか、どういう取り組みをしてよかったとか。そういう情報の共有化を図れることをしてほしい。

地域コミュニティ推進員

これは青垣の特殊な事情かもしれないが、昨年3月に小学校が統廃合になった。従来は小学校を中心にした地域づくりをしていたが、それがなくなって困っていることが多々ある。その中で、他の地域も少子高齢化が進む中で、小さな社会になることは目に見えているから、地域づくりを担う推進員の立場で意見交換の場を、今後設けて頂きたいと思う。小学校がなくなることで、地域づくりというのは困るというのが正直なところである。

地域コミュニティ推進員

25校区の小学校区で振興会が活動しており、今後も小学校を中心に活動したいと思うが、小学校が無くなることは避けられないと思う。PTAや子どもの為を思うと統合やむを得ないと思う。懇話会の中で小学校がなくてもできる地域づくり・拠点づくりはどんなことか？と議論して頂いて、ひとつの方向を示して頂けると助かると思う。

人・財源

自治協議会代表者

長浜市は金を出しても口は出さないという方針で補助金を出した。市としてはもっと思い切った考え方をするのも必要であると思う。地域に任せた補助金は自由に使えただけではいけないが、相談があるときはしっかり相談し、指導するそういう関係が大事であると思う。

自治協議会代表者

活動推進員の位置づけについて、どんな役割をするかという地元の人たちもピンと来ないし、名刺もつくっているのだけど、外から訪問された方も推進員がどういう仕事をされているか見えにくいものになっている。本来は自治協議会を運営責任者という重要な役割であるので事務局長という名称がふさわしいと考えている。

自治協議会代表者

推進員は事務局長兼業務執行理事として位置づけし、自治会長にも遠慮することなく依頼をできるようにしている。ただ、財源的に厳しく推進員に支払う給与等については、自主財源を入れて運営している状況。地域のために働く若い柔軟な考え方でできる人材が得られるように、その費用を交付金で対応してもらえなど検討してもらえればという願いはある。

地域コミュニティ推進員

悩んでいることとして、地域づくりに必要な事の課題1番は、リーダー人材の育成である。小学校も地域も振興会に言えばなんとかなると思っていることから、自治会長も意見を言ってもらえるが、そこを担うだけの人材の育成が本当に難しいと痛感している。